



わくわくレポート107号  
 杉並区議会議員  
 杉並わくわく会議代表  
**松尾 ゆり**

2008. 9. 25. 発行

連絡先:

杉並区下井草1-25-36

tel&fax 03-5930-3181

ホームページ:

<http://www.suginami-waku2.net/>

## リーマン破綻、世界的な金融危機に

15日米証券大手リーマン・ブラザーズが経営破綻し、世界中で**株価が暴落**、一気に金融不安が高まりました。翌日には保険大手アメリカン・インターナショナル・グループ(AIG)の救済が発表されるなど、**世界的な金融危機**の様相を深めています。

米政府は**不良債権買い取り**のための7000億ドルの金融救済計画を議会に提案しました。しかし、これが実施されたとしても、アメリカの**財政赤字**がますます致命的に拡大していくことになります。

「**百年に一度の危機**」(グリーンズパン前FRB議長)といわれる経済危機が一段と深まりました。

そんな大変な状況の中、日本では**麻生内閣**が発足し、総選挙が間近です。「二大政党」体制での「政権交代」などと喧伝されますが、自民党も民主党も財界の利益を代弁する保守政党であることでは**似たもの同士**。どちらが政権をとっても結果は変わりません。国民大多数の利害に立つ政治勢力を、国民の中からつくっていくしかないのではないでしょうか。

## 和田中地域本部と「杉並病」について質問

**松尾ゆり**は、9月17日本会議一般質問で、「和田中地域本部」と「杉並病」について質問しました。

### 和田中地域本部について

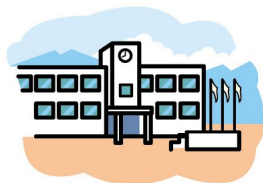
●和田中地域本部は年間収入1700万円

「和田中地域本部」が始まって以来5年目にして初めて、会計が明らかになりました。収入総額約1700万円です。

なぜこんなに収入が多いのか。それは「ドテラ(土曜寺子屋)」や「夜スペ」(大手塾による夜間講座)、「英語コース」(英検受験をめざす英語講座)などの補習事業の参加者から受講料をとっていること、そして**企業から多額の寄付**があるからです。

例えば「英語コース」は週3時間の授業に対し1ヶ月**6000円の授業料**がかかります。塾よりは安いけれど、バカにならない金額です。これらの結果、地域本部は年度末に約200万円の収支差益を出しています。

「地域の人たちがボランティアでやっている」と思



っていた印象と全く違い、地域本部は**収益事業体**だったのです。

●**ずさんな金銭管理の監督責任**は

また、地域本部はいまだに正確な決算を出していません。察するに、帳簿、通帳、領収証などがきちんと管理されておらず、**金銭管理が非常にずさん**なのではないでしょうか。区の監督責任は重大です。

●**教育の民営化**

公教育の大前提である**公平性**を投げ捨て、優秀な子ども、お金のある家の子どものみには、もっと有利な学習条件を用意し、そこに**ビジネスチャンス**とばかり民間企業が浸食していく、このような「教育の民営化」の考え方で教育改革を積極的に進めてきたのが、山田区長主導の「教育立区」でした。和田中地域本部の現状はその集大成といえることができます。

### 「杉並病」について

●**いまま続く「杉並病」被害**

市民団体の調査では、いまだに杉並病は続いていることが明らかです。大阪府寝屋川市でも「**寝屋川病**」とよばれるプラスチックリサイクル施設による健康被害が発生しました。杉並病とそっくりです。



杉並区が杉並病の解決を怠り、杉並病はおわったかのような態度をとり続けたことに重大な責任があります。

●**公害対策なき「環境先進都市」**

区長は、初当選時の公約の1つとして、杉並病の原因糾明をあげましたが、その後、中継所のごみ減量、そのためのレジ袋削減、そのためのレジ袋税へと問題を次々にすり替えていきました。

「環境先進都市」をかかげ、レジ袋税、環境博、エコスクールなど、いかにも環境配慮の自治体であるかのようなPRをしてきましたが、**杉並病にフタ**をして環境、環境と唱えてみても、真の環境先進都市になれるはずがありません。

杉並中継所の操業停止は、杉並病公害の終わりではなく、原因解明と公害の解決、被害者の補償などには、これから長い長い道のりがあるはずですが、しかし、残念ながら、区は杉並病公害をなかつたもののように扱って背をそむけ、その道のりの入口にも立とうとしないのが現状です。